

敬老乗車証は市民の宝

京都市は市バスや地下鉄に1回乗るたびに100円程度の負担を課す応益負担制度にしようと呼んでいます。私は11月市会本会議で、敬老乗車証制度を現状のまま維持継続することを市長に厳しく求めました。



山科区民もみじまつりに4000人

今年で39回目を迎える恒例の「もみじまつり」。中央舞台では井上さとし参院議員が国政報告。私も本庄府議、山本市議といっしょに挨拶しました。



憲法守れと奮闘

党議員団がそろって三条河原町交差点で、「安倍改憲NO! 3千万人署名」に取り組みました。若い男性は、「戦争は嫌です」と署名。若い女性の方が「戦争なんて御免です。頑張ってください」、別の方は「私の署名で役に立ちますか」と元気よく応じていただきました。10代の女性は、「戦争はダメだけど、自衛隊や米軍がいるから日本を守ってくれている」とのこと。米兵犯罪を見ても沖縄県民にとって危険な存在であること



をお話ししました。まじめな方で、「よく考えてみる」とのことでした。私にとってもいい経験になりました。

耳鼻塚慰霊祭

東山区茶屋町の耳鼻塚において、「第11回耳鼻塚慰霊祭」が行われ、来賓として出席しました。この行事は、豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に、武将らが持ち帰った朝鮮の人々の耳や鼻を埋めたとされ、京都・大阪両府の在日本大韓国民国民団(民団) 地方本部メンバーや日本人僧侶ら有志が参列されました。開会挨拶では、「過去のいたましい事態を無くすことを願って開催」されたことや、耳鼻塚を「東洋の平和のシンボル



にしたい」とのことでした。

平和を願って、関係者の皆さんや信ヶ原雅文氏らが献花や読経をされ、私も献花しました。

日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

年金減など収入が増えず暮らしが困難、医療費や保険料が上がるのに受けるサービスは低下、この上、消費増税では生活が成り立ちません。貧困と格差を拡大してきた安倍政権は許せない、これが市民の声です。この間、市民と野党の共闘が広がり、政治の転換を目指す声が強くなっていることに確信を持っています。今年も、皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

日本共産党
市会議員

北山ただお

